日本工学院蒲田専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ProTools実習3
科目基礎情報				
開設学科	音響芸術科	コース名	レコーディングエンジニアコース	開設期 前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	1単位			授業形態 演習
教科書/教材	使用データに関してはこちらで配布します。ヘッドホン、変換プラグ、記録媒体(HDD,SSD,USBメモリーetc.)を毎回持参すること。			
担当教員情報				
担当教員	野田 俊典、伊藤 優子		実務経験の有無・職種	有・レコーディングエンジニア
学習目的				
レコーディングスタジオにおけるProToolsの使用法を作品制作を通じて学んでいきます。現場におけるProToolsの重要性とどのような使われ方をしているかを深く知り、自分に合った操作方法を身につけることを目的としています。				
到達目標				
まずは「正確に」ProToolsの操作を行えるようになること。いかなる編集作業においても「応用力」を発揮し、即座に対応できる「クリエイティビティ」を身につけること。さらに作業の「スピード感」を重視し、現場レベルの時間で編集を終えることができる能力を身につけること。ProToolsの深い知識と理解を深め、総合かつ実践的に「プロエンジニア」のスキルを身につける事を目標とする。他学科、他コースとの連携を重視し、とくにミュージックアーティスト科のオリジナル曲を学生それぞれが最低1曲以上担当し、編集からミックスまですべてを工程を自身で行い、最終的にiTunesストアにおいて販売する事を目標とする。				
教育方法等				
授業概要	この授業では、各一台ずつのiMacを使用して実習形式でProToolsを操作しながら学んでいきます。レコーディングの流れに沿って授業を進めていきます。自宅にProToolsがない学生でも授業をきちんと受けていれば実践に必要なスキルを身につけることができます。			
注意点	この授業は実際のレコーディング作業に似ている継続的な実習内容になります。そのため遅刻欠席厳禁はもちろん、データ管理もとても重要な授業の一環です。授業に持参する機材が多いと思います忘れないようにしてください。現場においてコミュニケーション能力も大切なスキルです。そのため学生間の相談や意見交換はよしとしますが、作業に影響の出るような私語は厳禁です。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	%		
	小テスト	%		
	レポート	%		
	成果発表 (口頭・実技)	%		
	平常点	100%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画 (1回～15回)				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	ProToolsについて復習	レコーディングにおけるProToolsの基本設定の確認		
2回	2MixファイルSizeEDIT(1)	テンポが設定された2MixファイルのEDIT方法を学ぶ		
3回	2MixファイルSizeEDIT(2)	テンポが設定されていないファイルのEDIT方法を学ぶ		
4回	VocalSelect(1)	声の波形の特徴を知る		
5回	VocalSelect(2)	声のEDIT方法、ノイズの発見、除去方法を学ぶ		
6回	マルチトラック編集(弾き語り編)	楽器の波形の特徴を知り、編集する		
7回	マルチトラック(4Rhythm編)(1)	基本的なバランスの取り方		
8回	マルチトラック(4Rhythm編)(2)	セッションインポート方法と注意事項を学ぶ		
9回	マルチトラック(4Rhythm編)(3)	マルチトラックにおける編集の仕方と注意点を学ぶ		
10回	オートメーション(1)	オートメーションとクリップゲインの使い分けを知る		
11回	オートメーション(2)	編集画面とミックス画面での操作の違いと方法を学ぶ		
12回	オートメーション(3)	Mix時色々なシーンでのオートメーションの使用法を身につける		
13回	Mix(1)	マルチトラックのミックステクニックを身につける		
14回	Mix(2)	マスタートラックにおけるMix全体の調整～パウンズまでの流れを知る		
15回	前期まとめ	全体のまとめ		